様式２－７（表面）

**補装具費支給に関する意見書（標準形電動車椅子用）**

**※太枠欄は記入しないでください。**

|  |
| --- |
| **身　体　障　害　者　更　生　相　談　所　審　査　欄** |
| 審査結果 | １　適当　　　２　不適当　　　３　要確認 |
| 【審査結果が２～３の場合は、その理由・内容等】 |
| 審査医師 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 審査年月日 | 　　　　　　　年　　　月　　　日 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　　名 |  | 男･女 | 生年月日 | 年　　月　　日 |
| 住　　　所 |  | 歳 |
| 現在の居所 | □在宅　□病院　□施設　□その他（　　 　　　　　　 )(在宅以外の名称：　　　　　　　　　　)(入居(予定)期間：　　　　　～　　　　　　) |
| 同居者の状況 | なし ・ あり（ 父・母・配偶者・子・兄弟・祖父母・孫・その他　　　　　　　　） |
| 原因となった疾病・外傷名 | □先天性　□疾病　□交通　□労災　　□その他（　　　　　　　　　　　　　）(病名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 発生年月 | 　　　　年　　　月ごろ |  |
| 【身体寸法】 | 座位肘頭高 |  |
| 身　　長 |  | 座位下腿長 |  |
| 体　　重 |  | 座位臀幅 |  |
| 座位腋下高 |  | 座　底　長 |  |
| 現在の障害部位の状況 | 【 **ＦＩＭやＢＩ等ＡＤＬ機能評価を行っている場合は、それらの情報も御記入ください。** 】 |
| 使用中補装具の状況 | 使用中の補装具（ あり ・ なし ）**【使用中の場合はその具体的状況を御記入ください。】** |
| 現在の身体・活動状況 | 感覚障害 | （□　腰背部　　□　臀部）□　脱失　　□　重度　　□　軽度　　□　なし |
| 褥瘡の有無 | □　あり　　□　現在はないが過去にできたことあり　　□　過去・現在ともなし |
| 臀部の状態 | □　異常なし　　□　皮膚の発赤、変色あり　　□　痩せており、骨の突出あり |
| 立ち上がる | □　自力にて可　　□　（つかまり・支え）にて可　　□　不可 |
| 起立位保持 | □　自力にて可　　□　（つかまり・支え）にて可　　□　不可 |
| 歩　　行 | □　屋外移動可　　□　屋内（階段・部屋間・部屋内・ベッド周囲）歩行可能　□　不可 |
| 車椅子への移乗 | □　自力にて可　　□　一部介助にて可　　□　全介助 |
| 座　　位 | □　自力にて可　　□　支持（背部・頭部）があると可　　□　不可 |
| 車椅子の操作 | □　自力にて可　　□　部分的に可　　□　不可**※　自走可の場合→**操作方法{両手・右手・左手・右足・左足}｛室内のみ・室外も可｝ |

裏面に続く

様式２－７（裏面）

|  |  |
| --- | --- |
| 製作区分 | □新規　　□再製作　　□修理　　※再製作の場合、修理対応が困難な理由について御記入ください。 |
| 基本価格 | 身体部位 | □標準（上肢・体幹部・骨盤大腿部・下肢・足部）　　□頭頚部 |
| 本体価格 | 名称・区分 | □低速用4.5ｋｍ/以下　□中速用６km/以下□モジュラー式（商品名　　　　　　）　□オーダーメイド式　□レディメイド式（商品名　　　　　　） |
| 機構加算 | □手動リクライニング機構　□電動リクライニング機構　　□電動ティルト機構□電動ティルト・リクライニング機構　　□電動リフト機構 |
| 構造部品加算 | 操作ボックス | □操作ボックス（標準） |
| 操作レバー | □感度調整ジョイスティック（標準）　□ばね圧変更 |
| スイッチ | □標準スイッチ（標準）　□スイッチ延長 |
| バッテリ | 標準形　□シールドバッテリ（標準）　　□リチウムイオンバッテリ |
| 基本構造 | □後方大車輪（標準）　 |
| シート | □板張り式（標準）　□スリング式　　□張り調整式　　□奥行調整構造 |
| バックサポート | 名称 | □スリング式（標準）　 □張り調整式　　 |
| 備考 | □ワイドフレーム　□バックサポート延長　□高さ調整構造　　□背座角度調整構造　□背折れ構造 |
| フット・レッグサポート（片側） | □固定式（標準）　　□挙上式　　　□着脱式　 　 □開閉着脱式□挙上・開閉着脱式　□レッグベルト（全面張り） |
| フットサポート | 名称 | □セパレート式（標準）　□セパレート式（二重折込式） |
| 備考 | □前後調整構造　□角度調整構造　□左右調整構造　　□金属製フットサポート |
| アームサポート（片側） | 名称 | □フレーム一体型　（□固定式（標準）　□跳ね上げ式　□着脱式）□独立型　　　　　（□固定式（標準）　□跳ね上げ式　□着脱式） |
| 備考 | □高さ調整構造　□角度調整構造　□アームサポート幅広　□アームサポート延長 |
| ブレーキ | □電動又は電磁ブレーキ（標準） |
| タイヤ | □エア（標準）　　□ノーパンク |
| キャスタ | □エア（標準）　　□ノーパンク |
| 付属品 | □パワーステアリング　　□クライマーセット　□手動スイングアーム　□チンコントロール一式（□電動　□手動） □簡易1入力□多様入力コントローラ　□非常停止スイッチボックス　　　□4方向スイッチボード　□8方向スイッチボード　　　　　　　　　　□小型ジョイスティックボックス　□フォースセンサ　　　　□足用ボックス□ジョイスティックレバーノブ各種形状（小ノブ、球ノブ、こけしノブ）　□ジョイスティックレバーノブ各種形状（Uノブ、十字ノブ、ペンノブ、太長ノブ、T字ノブ、極小ノブ）□フットサポート（□ヒールループ　　□アンクルストラップ　　□ステップカバー）□クッション・カバー付き（□平面形状型　□モールド型　□ゲル素材　□多層重構造　□立体編物　□滑り止め加工　□防水加工）□背クッション（□滑り止め加工）□ヘッドサポート（□着脱式（枕含む）　□マルチタイプ（枕含む）　□枕（□オーダーメイド　□レディメイド） |
| 製作（購入）、修理にあたっての選定理由、留意点 | 【型式・各機構、サポート部、クッション及び付属品等の選定理由、他部品と比較した状況等の詳細を御記入ください。】 |
| 使用効果見込 | 【処方補装具を使用することで可能となる動作等を具体的に御記入ください。】 |
| 上記のとおり意見します。　　年　　月　　日医療機関名所在地作成医師氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印電話番号　　　　　　　　（　　　　　）* 下記の該当する項目にチェックしてください。（いずれかに該当しなければ意見書を書くことができません。）

□　身体障害者福祉法第１５条の規定に基づき指定された医師で、かつ所属医学会において認定されている専門医（※注）□　指定自立支援医療機関において当該医療を主として担当する医師で、かつ所属医学会において認定されている専門医（※注）□　国立身体障害者リハビリテーションセンター学院において実施している当該補装具関係の適合判定医師研修会を修了している医師□【難病患者等に限る】難病の患者に対する医療等に関する法律第6条第１項に基づき都道府県が定める医師 |

《参　考》　**標準形電動車椅子処方にあたっての留意事項**

**〈電動リクライニング式普通型対象者〉**

１　頸髄損傷者で低血圧発作を起こしやすく、発作防止のため随時に仰臥姿勢をとる必要がある者

２　リウマチ性の障害等により四肢・体幹に著しい運動制限があり、座位を長時間保持できないため、随時に仰臥姿勢をとることにより座位による生活動作を回復する必要のある者

３　股関節拘縮や強直がある者

上記リクライニング式の要件を満たし、この電動車椅子を使うことにより、自力でのリクライニング操作が可能となる者

**〈電動リフト式普通型対象者〉**

手動リフト式車椅子の使用が困難な者で、当該車椅子の使用により自力乗降が可能となる者

※　自力乗降が可能な者であっても、日常生活や介護者の状況等を勘案し、真に必要と認められる場合は、交付対象となる場合がある。

**〈電動ティルト式普通型対象者〉**

脳性麻痺、頚髄損傷、進行性疾患等による四肢麻痺や、関節拘縮等により座位保持が困難な者であって、

自立姿勢変換が困難な者等

上記ティルト式の要件を満たし、この電動車椅子を使うことにより、自力での自立姿勢交換が可能となる者

（以下削除）

様式２－８（表面）

**補装具費支給に関する意見書（簡易形電動車椅子用）**

**※太枠欄は記入しないでください。**

|  |
| --- |
| **身　体　障　害　者　更　生　相　談　所　審　査　欄** |
| 審査結果 | １　適当　　　２　不適当　　　３　要確認 |
| 【審査結果が２～３の場合は、その理由・内容等】 |
| 審査医師 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 審査年月日 | 　　　　　　　年　　　月　　　日 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　　名 |  | 男･女 | 生年月日 | 年　　月　　日 |
| 住　　　所 |  | 歳 |
| 現在の居所 | □在宅　□病院　□施設　□その他（　　 　　　　　　 )(在宅以外の名称：　　　　　　　　　　)(入居(予定)期間：　　　　　～　　　　　　) |
| 同居者の状況 | なし ・ あり（ 父・母・配偶者・子・兄弟・祖父母・孫・その他　　　　　　　　） |
| 原因となった疾病・外傷名 | □先天性　□疾病　□交通　□労災　　□その他（　　　　　　　　　　　）(病名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 発生年月 | 　　　　年　　　月ごろ |  |
| 【身体寸法】 | 座位肘頭高 |  |
| 身　　長 |  | 座位下腿長 |  |
| 体　　重 |  | 座位臀幅 |  |
| 座位腋下高 |  | 座　底　長 |  |
| 現在の障害部位の状況 | 【 **ＦＩＭやＢＩ等ＡＤＬ機能評価を行っている場合は、それらの情報も御記入ください。** 】 |
| 使用中補装具の状況 | 使用中の補装具（ あり ・ なし ）**【使用中の場合はその具体的状況を御記入ください。】** |
| 現在の身体・活動状況 | 感覚障害 | （□　腰背部　　□　臀部）□　脱失　　□　重度　　□　軽度　　□　なし |
| 褥瘡の有無 | □　あり　　□　現在はないが過去にできたことあり　　□　過去・現在ともなし |
| 臀部の状態 | □　異常なし　　□　皮膚の発赤、変色あり　　□　痩せており、骨の突出あり |
| 立ち上がる | □　自力にて可　　□　（つかまり・支え）にて可　　□　不可 |
| 起立位保持 | □　自力にて可　　□　（つかまり・支え）にて可　　□　不可 |
| 歩　　行 | □　屋外移動可　　□　屋内（階段・部屋間・部屋内・ベッド周囲）歩行可能　□　不可 |
| 車椅子への移乗 | □　自力にて可　　□　一部介助にて可　　□　全介助 |
| 座　　位 | □　自力にて可　　□　支持（背部・頭部）があると可　　□　不可 |
| 車椅子の操作 | □　自力にて可　　□　部分的に可　　□　不可**※　自走可の場合→**操作方法{両手・右手・左手・右足・左足}｛室内のみ・室外も可｝ |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　裏面に続く

様式２－８（裏面）

|  |  |
| --- | --- |
| 製作区分 | □新規　　□再製作　　□修理　　　※再製作の場合、修理対応が困難な理由について御記入ください。 |
| 基本価格 | 身体部位 | □標準（上肢・体幹部・骨盤大腿部・下肢・足部）　　□頭頚部 |
| 本体価格 | 名称・区分 | □簡易電動　　（□切替式　□アシスト式）□モジュラー式（商品名 　　　　　）　□オーダーメイド式　□レディメイド式（商品名 　　　　　） |
| 機構加算 | □リクライニング機構　□ティルト機構　□ティルト・リクライニング機構　 |
| 構造部品加算 | 操作ボックス | □標準操作ボックス（標準） |
| 操作レバー | □感度調整ジョイスティック（標準）　□ばね圧変更 |
| スイッチ | □標準スイッチ（標準）　□スイッチ延長（　　　　本） |
| バッテリ | □リチウムイオンバッテリ（標準）　□ニッケル水素バッテリ |
| 基本構造 | □後方大車輪（標準）　□前方大車輪　□幅止め構造　　 |
| シート | □スリング式（標準）　□張り調整式　　□板張り式（　　　　本）　□奥行調整構造 |
| バックサポート | 名称 | □スリング式（標準）　 □張り調整式 |
| 備考 | □ワイドフレーム　□バックサポート延長　□高さ調整　□背座角度調整　□背折れ構造 |
| フット・レッグサポート（片側） | □固定式（標準）　　□挙上式　　　□着脱式　 　 □開閉着脱式　□挙上・開閉着脱式　□レッグベルト（全面張り） |
| フットサポート | 名称 | □セパレート式（標準）　□セパレート式（二重折込式）　□中折式 |
| 備考 | □前後調整構造　　□角度調整構造　　□左右調整構造 |
| アームサポート（片側） | 名称 | □フレーム一体型 | □固定式（標準）　□跳ね上げ式　□着脱式 |
| □独立型　　　　　 | □固定式（標準）　□跳ね上げ式　□着脱式 |
| 備考 | □高さ調整構造　　□角度調整構造　　□アームサポート拡幅　　□アームサポート延長 |
| ブレーキ | □電動又は電磁波ブレーキ |
| タイヤ | □エア（標準）　　□ノーパンク |
| キャスタ | □ソリッド（標準）　　□衝撃吸収タイプ |
| ハンドリム | 名称 | □プラスチック（標準）　□ステンレス　　□アルミ |
| 備考 | □ピッチ30mm超 □片手駆動構造　　□滑り止め　□ノブ付き（垂直ノブ） |
| 付属品 | クッション（カバー付き） | □平面形状型　　 □モールド型　 □ゲル素材 　□多層構造　　□立体編物□滑り止め加工　 □防水加工 |
| 座板 | □座板　　　　　□クッション一体型（クッションとの併用加算不可） |
| 背クッション | □背クッション　□滑り止め加工 |
| ヘッドサポート | □着脱式（枕含む □オーダーメイド）　　□マルチタイプ（枕含む □オーダーメイド）　 |
| □枕（オーダーメイド）　□枕（レディメイド） |
| フットサポート | □ヒールループ　 □アンクルストラップ　 □ステップカバー |
| テーブル | □テーブル　 □テーブル取付部品 |
| 転倒防止装置 | □パイプ　　　　 □キャスタ付き（□折りたたみ構造） |
| □搭載台（□呼吸器搭載台　□痰吸引機搭載台　□携帯用会話補助装置搭載台）　□車載固定部品( 　 個）　□杖たて（□一本杖　□多脚つえ）　□酸素ボンベ固定装置　　□栄養パック取付用ガードル架　□点滴ポール　□日よけ　□雨よけ　　□泥よけ　　□スポークカバー　□リフレクタ（　　　個）　□高さ調整式手押しハンドル　□ブレーキ（延長レバー）　□パワーステアリング　□クライマーセット　□手動スイングアーム　□チンコントロール一式（□電動　□手動）　□簡易1入力□多様入力コントローラ　 □非常停止スイッチボックス　　　□4方向スイッチボード　□8方向スイッチボード　　　　　　　　　□小型ジョイスティックボックス　□フォースセンサ　　　　□足用ボックス□ジョイスティックレバーノブ各種形状（小ノブ、球ノブ、こけしノブ）　□ジョイスティックレバーノブ各種形状（Uノブ、十字ノブ、ペンノブ、太長ノブ、T字ノブ、極小ノブ） |
| 製作（購入）、修理にあたっての選定理由、留意点 | 【型式・各機構、サポート部、クッション及び付属品等の選定理由、他部品と比較した状況等の詳細を御記入ください。】 |
| 使用効果見込 | 【処方補装具を使用することで可能となる動作等を具体的に御記入ください。】 |
| 上記のとおり意見します。　　年　　月　　日医療機関名所在地作成医師氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印電話番号　　　　　　　　（　　　　　）* 下記の該当する項目にチェックしてください。（いずれかに該当しなければ意見書を書くことができません。）

□　身体障害者福祉法第１５条の規定に基づき指定された医師で、かつ所属医学会において認定されている専門医（※注）□　指定自立支援医療機関において当該医療を主として担当する医師で、かつ所属医学会において認定されている専門医（※注）□　国立身体障害者リハビリテーションセンター学院において実施している当該補装具関係の適合判定医師研修会を修了している医師□　【難病患者等に限る】難病の患者に対する医療等に関する法律第6条第１項に基づき都道府県が定める医師 |

《参　考》　簡易形**電動車椅子処方にあたっての留意事項**

**〈オーダーメイド（簡易型）対象者〉**

１体格・体型がJIS規格の既製品では適合しない者

２　障害者の身体状況に個別に対応することが必要な者

**〈簡易型対象者〉**

１　Ａ切替式

⑴　平坦路は自走可能であるが、日常生活圏の坂路や悪路においては手動操作が著しく困難な者

⑵　アシスト式を使用しても、手動による自走ができない者

２　Ｂアシスト式

アシスト式を使用した場合に、手動による自走が可能となる者